





<b>事例 20—高岡市コミュニティバス「こみち」</b>	0 1 2 3 4 5
■事業主体 ■加越能鉄道株式会社（高岡市）	利用者利便性  3
■運行事業者 ■加越能鉄道株式会社	地域の主体的関与  5
■運行区域 ■高岡市	事業性  3
関連HP <a href="http://www.city.takaoka.toyama.jp/">http://www.city.takaoka.toyama.jp/</a>	間接効果  1

## 導入の背景・目的

富山県はマイカーへの依存度が高い地域であり、高岡市も同様な状況下において、バスをはじめとする公共交通の維持確保は困難な状態であった。また、高岡市郊外に大型ショッピングセンターが進出したことに伴い商店街の活力が低下してきたことから、市街地へのアクセスを確保し、回遊性を高めることで市街地の活性化を図ることも必要と考えられていた。このような背景を受けて、移動手段を持たない高齢者等へのバスサービスの提供と、中心市街地の移動利便性を向上させ、市街地の活性化を図ることを目的としてコミュニティバスを導入することとなった。

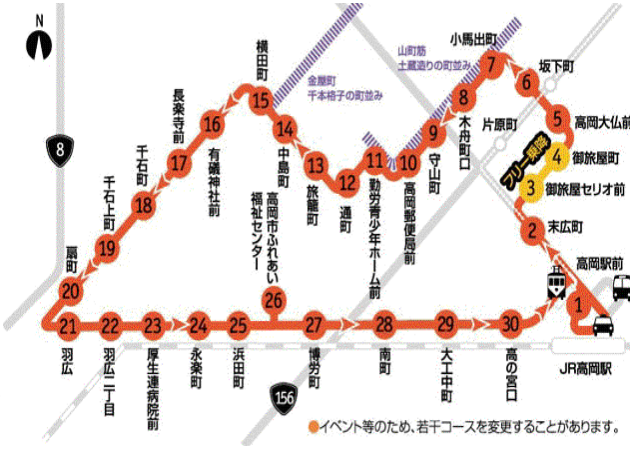
図1 高岡市コミュニティバス「こみち」



## 事業概要

- 路線：高岡駅前～御旅屋町～羽広～永楽町～高岡駅前（6.5km）（1路線 1方向）
- 運賃：100円（大人・小児）  
 無料（同伴未就学児1人目）  
 買い物共通券（中心市街地提携店で2,000円以上の買い物により、1回分乗車券を無料で配布）
- 運行時間：8：00～18：00  
 運行便数：31便/日（平日・休日）  
 運行開始時期：  
 ・平成13年10月（本格運行）  
 （平成12年11月～12月 試験運行）  
 その他：  
 ・スロープ付小型ノンステップバスの導入  
 ・御旅屋セリオ前～御旅屋町（0.1km）でフリー乗降区間を実施  
 検討委員会の設置：  
 ・「高岡市コミュニティバス導入検討委員会」（高岡市、事業者）を設置し、検討を行った。
- 地域との関係：中心商店街では買い物客に対して「買い物共通乗車券」を呈呈

図2 「こみち」路線図



## 導入時のポイントー苦労した点・工夫した点

<p><b>【苦労した点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存バス路線と競合するため、ルートの設定に苦労した。</li> <li>・道路幅員の狭隘な区間での安全運転確保に苦労した。</li> </ul>	<p><b>【工夫した点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運行時刻をわかりやすくするために、20分ごと出発のダイヤ設定とした。</li> <li>・アーケイド内ではフリー乗降区間を設定し、買い物客の乗車促進を図っている。</li> <li>・古い街並みをもつ高岡市の景観に合わせた車両、バス停のデザイン設定となっている。</li> </ul>
--	--

## 事業効果と今後の展開

### 【事業効果】

#### 乗車人員：

- ・運行開始以降安定的に増加している。

#### 輸送収入：

- ・乗車人員と同様に安定的に増加しているが、コミュニティバス事業は路線バス事業全体のうちに占める割合が小さいので、バス事業全体には変化を与えていない。

#### 効果が上がっている点：

- ・交通空白地帯の住民からは、駅や商店街、福祉施設への移動の利便性が増したと好評である。
- ・女性運転士によるソフトな接客が、利用者に好評である。

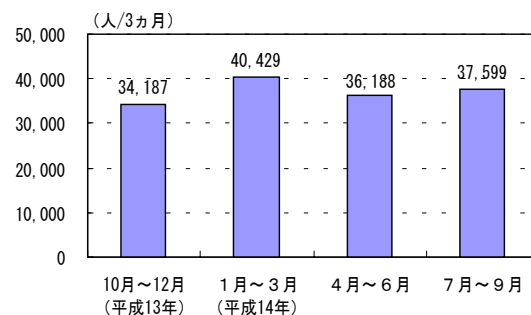
#### 効果が上がっていない点：

- ・運行区間が狭隘なため一方通行の循環運行となり、乗車地によっては乗車時間が長い場合がある。

### 【今後の展開】

- ・現在は1路線のみであるが、第2・第3ルートの設定を検討している。

図3 輸送人員の推移



## 評価

対象	評価
利用者利便	・ノンステップバスの導入、一部フリー乗降区間の設定などにより利用者利便に配慮している点で評価できる。また地元商店街との連携による共通乗車券は利用者にとって利便性と経済性に貢献していると考えられる。
地域の主体的関与	・バス導入にあたっての補助金拠出や開始後も運営に関わっており事業者と行政との協力が図られていると認められる。
事業性	・コミュニティバスの収支率は50%弱であるが、事業者からみると収入は少額であり、仕業数増に見合った収入という点で事業性は低いといえる。
間接効果	・低床コミュニティバスの導入で地域イメージが向上し、また、高齢者等の利用促進、バス共通乗車券のサービスによって地域活性化への効果もあったといえる。